

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ

世界の窓



でござそうで祝うアメリカのサンクスギビング

世界の国々や文化を紹介する「ワールズ・ウィンドウ」！ 案内役は、国際交流員リサアン・カワチさんとエイミー・タッペンデンさんです。

Vol.92 サンクスギビング (アメリカ合衆国)

Hello! 皆さん初めましてリサアンです。実りの秋、たくさんの食べ物が食卓に並び皆さんのお腹を満たしてくれますね。鶴田は食べ物がとてもおいしいのでつい食べ過ぎになってしまいそうです。この季節わたしの国には、収穫に感謝して食べ物の恵をみんなで共有するサンクスギビングという祝日があります。今回はその祝日をご紹介します。

サンクスギビングという祝日は、おもにアメリカ合衆国とカナダで祝われています。その祝日は国の間で違い、カナダでは10月の第2月曜日ですが、アメリカでは11月の第4木曜日です。伝統的で盛大な祝日のため、週末までずっと続くこともあます。

歴史的にサンクスギビングは宗教や文化的伝統にもとづいて行われていました。しかし今日では、宗教とはあまり関係のないものとして祝われています。アメリカでは、一般的に「ターキーデー」として知られていて、今年は11月22日に行われます。ほとんどのアメリカ人にとってサンクスギビングは、仕事を休む期間であり、収穫に感謝しながら家族や友人と宴会をする期間であることを意味しています。

サンクスギビングの起源は、1621年にマサチューセッツ州のプリマス植民地で、イギリス人入植者とワンパノアグ族（アメリカの先住民）が宴会を共にした時からだとされています。



・当時の宴の様子を描いた絵画

当時の宴会は3日間

も続き、食事には七面鳥、魚、水鳥、ウナギ、ロブスター、ドライフルーツ、アサリ、鹿の肉、プラム、カボチャ、瓜などたくさんの食材が使われました。サンクスギビングの思想は、1621年にアメリカで大干ばつがあり、その2年後の1623年からその年の収穫を祝う行事として人びとに定着しました。



伝統的なサンクスギビングの食べ物として知られているのは、ピルグリムファーザーズ（清教徒）がネイティブアメリカンからもらったアメリカ大陸特有の食べ物（七面鳥など）です。サンクスギビングの宴会には大きな七面鳥の料理が欠かせず、メインディッシュであり、大抵はちぎったパンや具材を中に詰めて焼いたものが出されます。七面鳥の準備や調理は徹底していて、普通は前日や早

朝から準備を始めます。七面鳥の中に詰める具材は、セージ、パン、セロリ、ニンジン、タマネギなどです。付け合わせとして人気があるのは、ハム、ロールパン、マッシュポテト、グリーンピース、ヤムイモ、エンドウ豆、クランベリーソース、そしてもちろんグレービーソースなどです。デザートもメインディッシュと同様に大切な部分を占めています。メイン料理でお腹がいっぱいになっても、消化するまで少し待ってからデザートを食べます。ずらりと並んだパイはサンクスギビングでは一般的なデザートです。もっとも人気があるのは、カボチャパイやホイップクリームを載せたアップルパイです。

これらの伝統的な料理はサンクスギビングの時に食べなければならないとされていますが、それぞれの家庭ごとに独自の料理が振る舞われます。食事の種類の多さは、祝日を祝う人びとの文化の数と同じくらい多いと思います。サンクスギビングが国民の祝日になって以来、人びとは休暇を取り、アメリカの移民社会でも同じようにサンクスギビングを祝い、その文化によって異なった食材を使い祝います。

サンクスギビングは素晴らしい食べ物とともに家族や友人と過ごす時間です。近年ではメイシーズ（アメリカの有名百貨店）のパレードを見たり、大学やプロフットボールの試合を見るなどの習慣もあります。サンクスギビング中に全米で4,400万人以上の人たちがこのパレードをテレビで見えています。人気のあるキャラクターを呼び物にした巨大な風船が、ニューヨークの通りをパレードするのが特徴です。また国中から集まった歌手、ダンサーやミュージシャンによるライブパフォーマンスもあります。エンターテイメント、食事、家族、友だちが一緒になりこの伝統的な祝日を盛り上げています。



・ニューヨークの街がにぎわうメイシーズのパレード